

資質・能力の育成

○よさに気付く力（創造） ○伝える力（発信） ○関わる力（協働） ○挑戦し、やり抜く力（挑戦）

目指す子どもの姿

- 目標に向かい、主体的に学ぶ生徒
- 多様な価値を認め、ともに生きる生徒
- 困難を乗り越えられる生徒
- 地域社会の一員であることを自覚する生徒

何ができるようになったか ○各教科で育成する資質・能力

育成する資質・能力	
国語	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質能力を育成する。
社会	社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追及したり、解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力を育成する。
数学	数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を育成する。
理科	自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しを持って観察、実験を行うことなどを通して自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成する。
音楽	表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かにかかわる資質・能力を育成する。
美術	表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を育成する。
保体	体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体としてとらえ、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育成する。
技家	生活の営みに係る見方・考え方や技術の見方・考え方を働かせ、生活や技術に関する実践的・体験的な活動を通して、より良い生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を育成する。
英語	外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成する。
道徳	道徳の目標に基づき、よりよく生きるための基礎となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。
総合	探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を育成する。
特活	集団や社会の形成者としての見方・考え方を働かせ、様々な集団活動に自主的、実践的に取り組み、互いの良さや可能性を発揮しながら集団や事故の生活上の課題を解決することを通して資質・能力を育成する。

何が身に付いたか

- 教科等の学習評価
- ①知識・技能の評価方法
 - 定期テスト、単元テストでの解答、点検
 - 実技テスト、作品の観察、点検
 - 図やまとめ、振り返りの内容の点検・分析
- ②思考力・判断力・表現力等の評価方法
 - 問題解決家庭におけるパフォーマンスの観察、発言内容や学習ノート、ワークの記述内容の分析・点検
- ③主体的に学習に取り組む態度の評価方法
 - 学習への取り組み状況の観察、発言内容・学習ノートの記述内容の分析、日常生活で活用する姿の観察等

どのように学ぶか

- 各教科の見方・考え方を意識し、どのような視点で物事をとらえ、どのような考え方で思考していくのかを理解する
- 単元ごとの見通しをもたせ、目指す姿を明確にする
- 学びの見取りや振り返りを授業で生かす
- 表現の仕方を学ぶ機会を意図的に設定し、「伝える」活動を重視する。

子どもの実態

学習に対して、まじめに取り組む生徒が多いが、学習習慣の定着が不十分である。協力して物事に取り組もうとしており、やり遂げようとしている。

何を学ぶか

- 各教科等の教育課程の編成
- ・学習指導要領に示される各教科等の内容
- ・片山津中学校が教育課程全体で育成したい資質・能力
- よさに気付く力（創造） 伝える力（発信） 関わる力（協働） 挑戦し、やり抜く力（挑戦）

子どもたちの発達をどのように支援するか

- 配慮を必要とする子どもへの指導
- ・温かい人間関係作りを基盤に、学校生活のあらゆる場面の中でのかわりを通じて、個々の生徒の思いや、願い、良さ、困り感の把握に努める。
- ・学習ノートや生活ノートへのコメント、個人面談等を通して個別の支援を行う

実施するために何が必要か

- 指導体制の充実、家庭・地域との連携・協働
- ・地域資源の積極的活用（地域人材の発掘と開発、GTの招へい、実地調査等の実施）
- ・家庭学習習慣の定着（タブレット端末活用した宿題、課題の開発 学習課題の生徒と保護者とのつながりを促す 保護者の積極的関わり）

教科等横断的な視点に立った資質・能力の育成

- ・教育課程全体で育成したい資質・能力が高まっていくように各教科の授業における学習過程を工夫する
- ・各教科での見方・考え方を全教職員で共通理解し、各教科等の単元で身に付けた資質・能力が一層汎用的な力として磨かれていくよう、単元間や学年間、教科間といった縦・横のつながりを意識した指導計画を立てる